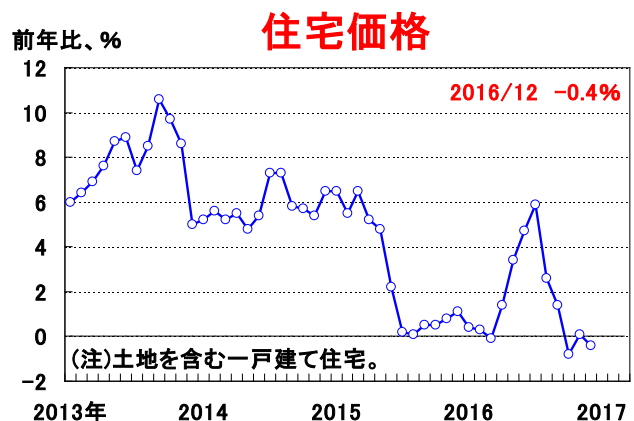
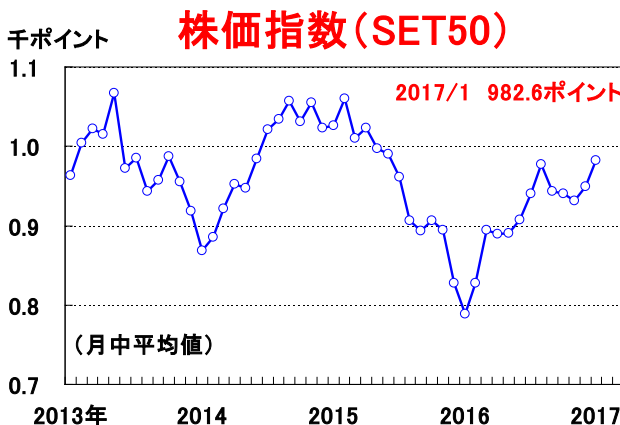
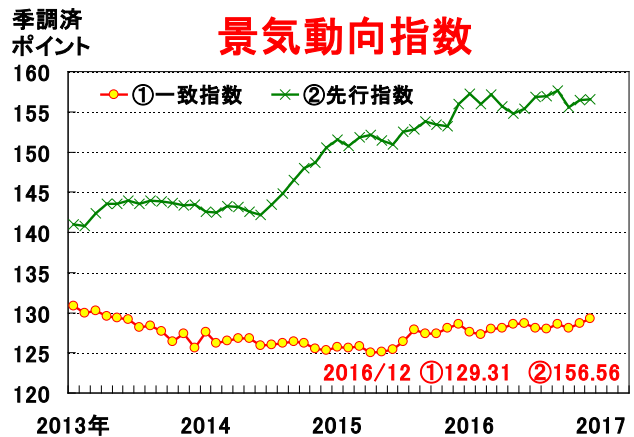
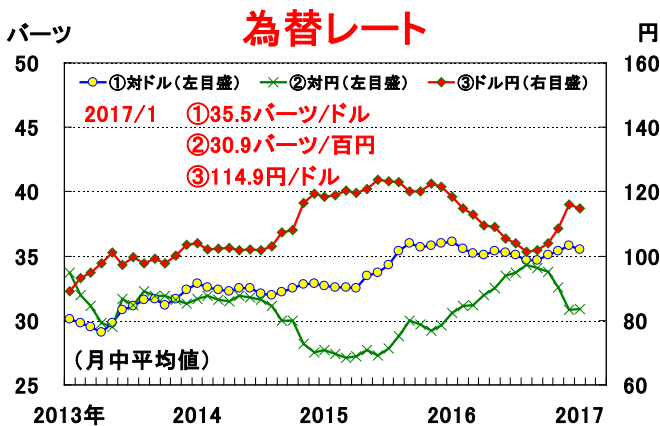
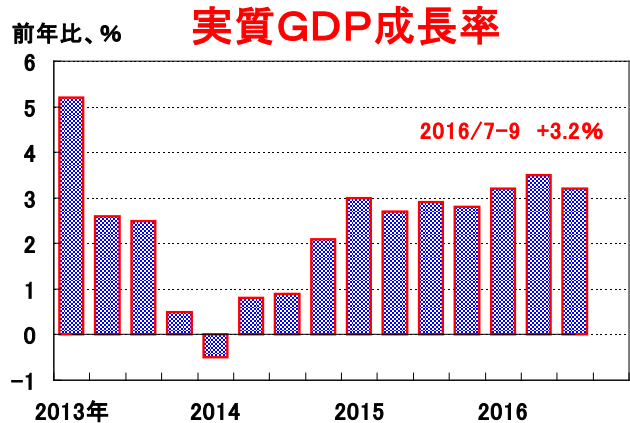
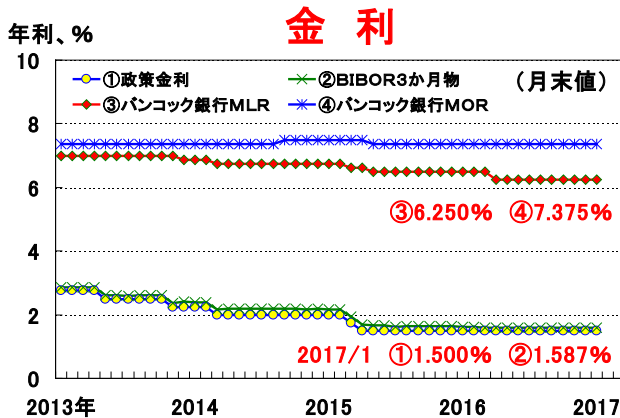


グラフで見るタイ経済 2017年2月号(No. 92)

タイ景気は回復している。2016年12月の指標をみると、景気動向指数は、一致指数が43か月ぶりの高水準に改善したうえ、先行指数もわずかながら2か月続けて上向いた。景気を持ち直しは、主に外需や個人消費によるものとみられる。すなわち、輸出が前年比+6.2%と、中国向けの大幅増(同+27.3%)を主因に2か月連続で前年実績を上回った。個人消費指数も前月比+1.4%と外国人観光客の消費回復などもあり、高水準を記録した。足元の2017年1月の企業景況指数は50.1と2か月続けて中立水準の50を上回っている。



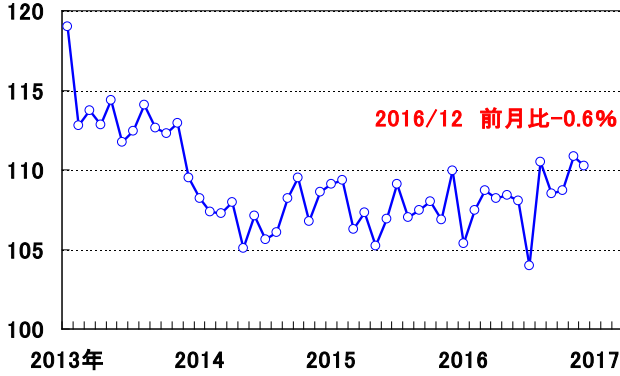
【今月のトピック:投資申請額が急拡大】タイ投資委員会によると、2016年の内外からの投資申請額は5,844億パーツ(約1兆8,000億円)と、前年比196%の増加となった。タイ政府は、2015年から投資恩典制度を見直し、労働集約型業種に対する優遇措置を縮小ないし廃止する一方、ハイテク分野の優遇策を強化する政策を導入した。この影響により、2015年の投資申請額は前年比90%減と、大きく落ち込んだ。2016年に投資申請額が回復した背景としては、大幅な落ち込みの反動に加え、ハイテク分野に対する優遇措置の効果の浸透があげられる。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

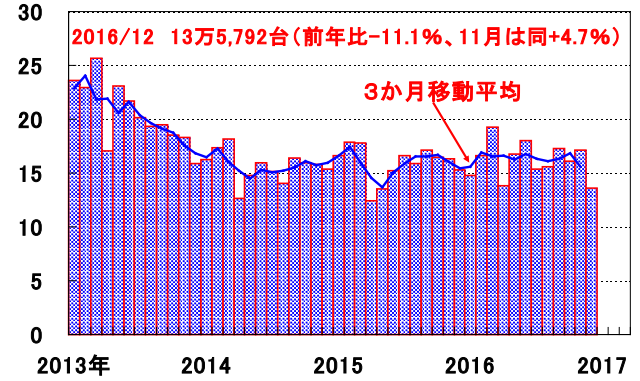
季調済
2000年=100

工業生産指数

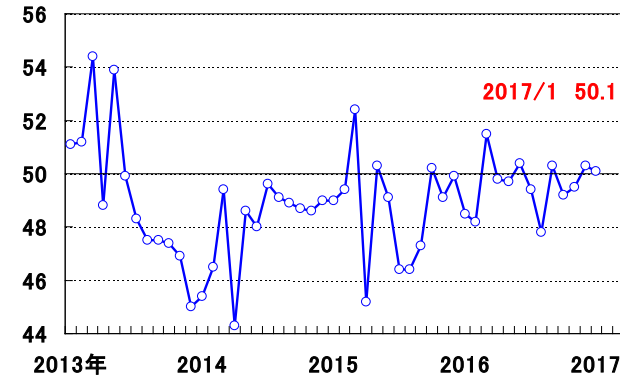


万台

自動車生産台数

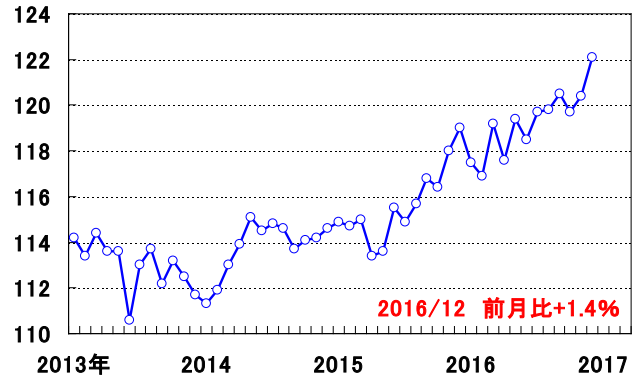


中立水準=50 **企業景況指数(BSI)**



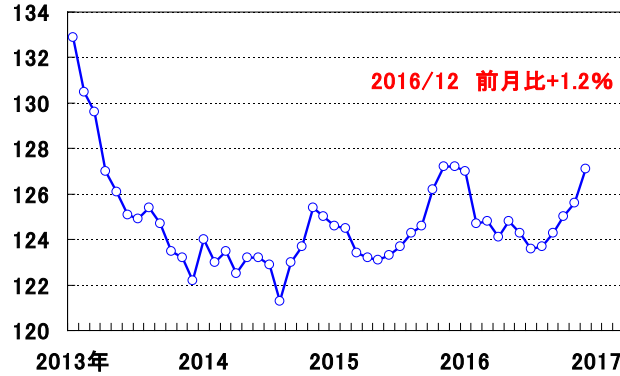
季調済
2000年=100

個人消費指数



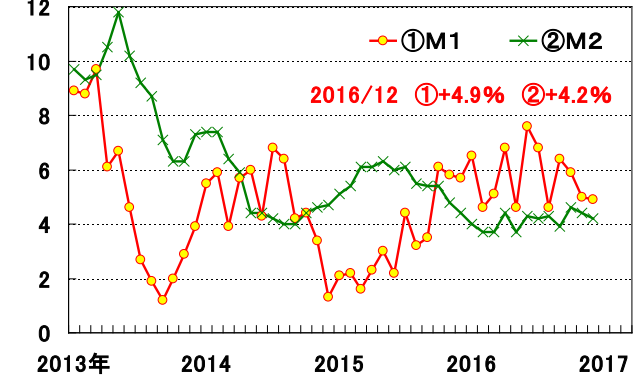
季調済
2010年=100

民間投資指数



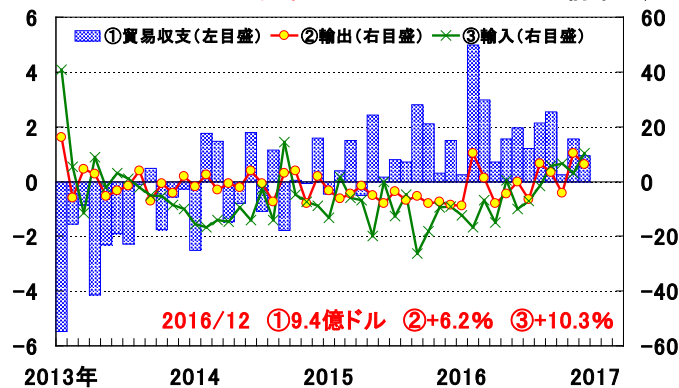
前年比、%

マネーサプライ



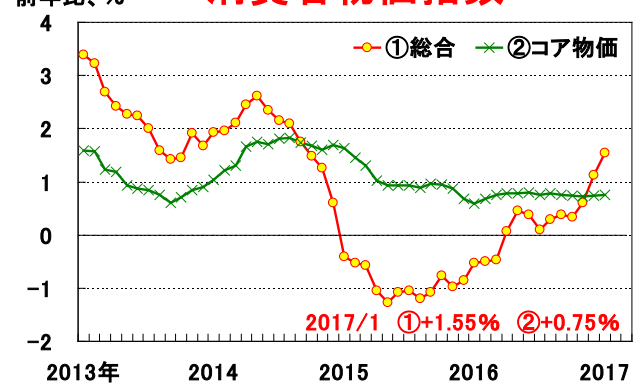
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (F T I)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。